



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日
東

上場会社名 コンバム株式会社 上場取引所
コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 穰
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役（氏名） 國松 孝行（TEL）03-3759-1491
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年8月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	980	7.8	165	7.6	172	0.9	122	2.9
2024年12月期中間期	909	△6.0	153	△9.1	171	△9.0	118	△4.1

（注）包括利益 2025年12月期中間期 69百万円（△64.0%） 2024年12月期中間期 193百万円（△8.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	78.90	—
2024年12月期中間期	76.23	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	6,323	5,927	93.1
2024年12月期	6,360	5,969	93.2

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 5,887百万円 2024年12月期 5,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年12月期	—	25.00			
2025年12月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,979	7.0	276	△9.1	307	△10.2	220	△11.2

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 0社 (社名) — 、除外 0社 (社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期中間期	1,657,000株	2024年12月期	1,657,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	136,348株	2024年12月期	100,448株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年12月期中間期	1,547,428株	2024年12月期中間期	1,556,552株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや原材料費の上昇が企業収益を圧迫する中、米国の自国優先的な政策や中東情勢の紛争激化による不安など、海外経済の不確実性が増しており、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、電子部品・半導体製造装置関連の需要が徐々に回復傾向の兆しが見えてまいりました。また、ロボット関連および食品機械業界、各種自動機関連においては、昨年度から続く原材料や部材価格の高騰の影響が続いておりますが、受注は緩やかな回復基調にあります。

開発面では、労働人口の減少を背景に、ロボット向けの吸着ハンドのバリエーションの拡充を進めつつ、新素材・新形状の吸着パッドの開発を進め、将来的な需要拡大に備えた製品強化に取り組みました。

この結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、連結売上高は980,395千円（前年同期比107.8%）、連結経常利益は172,806千円（前年同期比100.9%）、親会社株主に帰属する中間純利益は122,098千円（前年同期比102.9%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

半導体製造装置およびメンテナンスの需要は横ばいでありましたが、生産設備の省人化、自動化の流れからロボットハンド関連製品の引き合いは増加し、新製品投入と新規顧客の取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は817,315千円（前年同期比107.2%）となりました。営業利益については154,662千円（前年同期比99.3%）となりました。

（韓国）

半導体製造装置およびメンテナンスの需要は回復の兆しがあり、真空機器および独自製品の開発を進め新規顧客の獲得により受注が増加しました。

この結果、売上高は201,134千円（前年同期比112.9%）となりました。営業利益については8,543千円（前年同期比155.8%）となりました。

（その他）

タイでは、タイおよび周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、現地Sierと共に省力化に向けた設備へのロボットハンドの製品投入を行いました。

この結果、売上高は29,985千円（前年同期比156.3%）となりました。営業利益については2,257千円（前年同期の営業損失は7,415千円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①財政状態の分析

（資産）

当中間連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ65,485千円増加し、3,722,639千円となりました。これは主として、電子記録債権が59,046千円減少したのに対し、現金及び預金が91,839千円、売掛金が31,810千円増加したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ102,837千円減少し、2,600,651千円となりました。これは主として、投資有価証券が56,260千円、有形固定資産が35,898千円、無形固定資産が12,658千円減少したことによりです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ37,352千円減少し、6,323,290千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ20,702千円増加し、254,840千円となりました。これは主として、未払法人税等が6,846千円、支払手形及び買掛金が5,209千円減少したのに対し、その他が31,963千円増加したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16,350千円減少し、140,498千円となりました。これは主として、繰延税金負債が17,348千円減少したことによりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,352千円増加し、395,338千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ41,704千円減少し、5,927,952千円となりました。これは主として、利益剰余金が83,185千円増加したのに対し、自己株式の取得により72,446千円、その他有価証券評価差額金が43,477千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は93.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ84,644千円増加し、2,744,351千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益177,411千円に加え、減価償却費94,999千円、売上債権の減少額9,256千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額61,359千円等の減少要因により261,226千円の資金収入(前年同期は281,294千円の資金収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出48,202千円、定期預金の預入による支出8,148千円、投資有価証券の取得による支出6,824千円等の減少要因により58,795千円の資金支出(前年同期は32,545千円の資金支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出72,446千円、配当金の支払額40,553千円の減少要因により113,000千円の資金支出(前年同期は38,782千円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績及び需要動向を踏まえ、2025年2月14日に公表いたしました通期(2025年1月1日～2025年12月31日)の業績予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,801,000	2,892,839
受取手形	10,157	27,911
電子記録債権	254,610	195,564
売掛金	196,850	228,660
製品	153,247	147,660
仕掛品	112,674	120,353
原材料	83,846	86,597
その他	45,064	23,336
貸倒引当金	△296	△284
流動資産合計	3,657,154	3,722,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,749,516	1,752,063
減価償却累計額	△950,247	△975,133
建物及び構築物（純額）	799,269	776,929
機械装置及び運搬具	1,208,859	1,190,326
減価償却累計額	△864,866	△827,490
機械装置及び運搬具（純額）	343,992	362,835
土地	703,506	703,387
その他	809,920	769,042
減価償却累計額	△733,577	△724,982
その他（純額）	76,342	44,059
有形固定資産合計	1,923,111	1,887,213
無形固定資産	79,103	66,444
投資その他の資産		
投資有価証券	579,744	523,483
繰延税金資産	3,265	4,469
その他	118,263	119,039
投資その他の資産合計	701,273	646,993
固定資産合計	2,703,488	2,600,651
資産合計	6,360,642	6,323,290

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,539	40,330
未払法人税等	71,775	64,929
賞与引当金	23,266	26,020
役員賞与引当金	5,020	3,060
その他	88,536	120,500
流動負債合計	234,138	254,840
固定負債		
退職給付に係る負債	85,086	86,092
繰延税金負債	70,546	53,198
その他	1,216	1,207
固定負債合計	156,848	140,498
負債合計	390,986	395,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	4,000,685	4,083,870
自己株式	△119,786	△192,232
株主資本合計	5,641,983	5,652,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,316	187,839
為替換算調整勘定	54,444	46,966
その他の包括利益累計額合計	285,760	234,805
非支配株主持分	41,911	40,423
純資産合計	5,969,656	5,927,952
負債純資産合計	6,360,642	6,323,290

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	909,251	980,395
売上原価	442,181	470,021
売上総利益	467,070	510,373
販売費及び一般管理費	313,232	344,909
営業利益	153,837	165,464
営業外収益		
受取利息	135	1,283
受取配当金	9,108	7,373
受取地代家賃	4,978	5,565
為替差益	10,222	—
その他	1,155	1,907
営業外収益合計	25,600	16,129
営業外費用		
売上割引	121	139
減価償却費	3,812	3,784
その他	4,153	4,861
営業外費用合計	8,087	8,786
経常利益	171,350	172,806
特別利益		
固定資産売却益	1,824	6,587
特別利益合計	1,824	6,587
特別損失		
固定資産売却損	68	—
固定資産除却損	0	17
その他	—	1,965
特別損失合計	68	1,982
税金等調整前中間純利益	173,106	177,411
法人税、住民税及び事業税	59,250	54,374
法人税等調整額	669	527
法人税等合計	59,920	54,902
中間純利益	113,186	122,509
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△5,467	410
親会社株主に帰属する中間純利益	118,653	122,098

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	113,186	122,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,551	△43,477
為替換算調整勘定	25,686	△9,375
その他の包括利益合計	80,238	△52,853
中間包括利益	193,424	69,655
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	197,371	69,245
非支配株主に係る中間包括利益	△3,946	410

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	173,106	177,411
減価償却費	89,942	94,999
有形固定資産除却損	0	17
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,756	△6,587
貸倒引当金の増減額(△は減少)	97	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,551	2,872
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,172	△1,960
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,014	1,035
受取利息及び受取配当金	△9,243	△8,656
売上債権の増減額(△は増加)	250	9,256
仕入債務の増減額(△は減少)	8,652	△4,988
棚卸資産の増減額(△は増加)	20,184	△5,801
その他	17,273	43,188
小計	297,901	300,776
利息及び配当金の受取額	9,243	8,656
法人税等の還付額	2,187	13,152
法人税等の支払額	△28,037	△61,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	281,294	261,226
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,829	△8,148
投資有価証券の取得による支出	△8,105	△6,824
有形固定資産の取得による支出	△9,403	△48,202
有形固定資産の売却による収入	2,221	6,587
無形固定資産の取得による支出	△4,428	△2,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,545	△58,795
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△72,446
配当金の支払額	△38,782	△40,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,782	△113,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,894	△4,786
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225,860	84,644
現金及び現金同等物の期首残高	2,433,239	2,659,706
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,659,100	2,744,351

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式35,900株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が72,446千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が192,232千円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を、当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	韓国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	732,163	157,904	890,067	19,184	909,251
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	732,163	157,904	890,067	19,184	909,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,260	20,199	50,459	—	50,459
計	762,423	178,103	940,527	19,184	959,711
セグメント利益又は損失(△)	155,770	5,482	161,253	△7,415	153,837

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、主に「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	161,253
「その他」の区分の損失(△)	△7,415
セグメント間取引消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	153,837

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	韓国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	778,413	171,996	950,409	29,985	980,395
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	778,413	171,996	950,409	29,985	980,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,902	29,137	68,039	—	68,039
計	817,315	201,134	1,018,449	29,985	1,048,435
セグメント利益	154,662	8,543	163,206	2,257	165,464

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、主に「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,206
「その他」の区分の利益	2,257
セグメント間取引消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	165,464